

令和 5 年度 伊豆市当初予算

主要事業 参考資料

令和5年度当初予算 主要事業

区分			新規	継続	拡充	事業名	予算額 (千円)	担当課	No.
基本方針	重点目標	政策							
本格的な人口減少社会に向けた戦略的対応	人口減少抑制戦略	1 少子化対策と次代を担う人材の育成	結婚から子育てまで切れ目ない支援	●	●	【出会い・結婚】出会い・婚活支援事業	4,140	企画財政課 地域づくり課	1
						【妊娠・出産】不妊・不育治療医療費助成事業	8,000	子育て支援課	2
					●	【妊娠・出産】妊産婦サポート事業	1,653	子育て支援課	3
						【妊娠・出産】出産準備金支給事業	11,000	子育て支援課	4
						【妊娠・出産】出産祝い品配布事業	1,013	市民課	5
				●		【子育て】第2子以降保育料無償化事業	7,326	子育て支援課	6
				●		【子育て】伊豆っ子未来応援金支給事業	18,550	子育て支援課	7
				●		【子育て】新生児市産材活用祝い品配布事業	1,600	子育て支援課 農林水産課 学校教育課	8
				●		【子育て】子育てママ交流支援事業	610	子育て支援課	9
					●	【子育て】こども園体験付きお試し住宅事業	6,593	地域づくり課	10
			教育の充実		●	新中学校整備事業	1,781,787	学校教育課	11
						実学教育支援事業	2,452	学校教育課 社会教育課 農林水産課	12
						土肥地域高校魅力化支援事業	11,920	地域づくり課	13
						児童待合所整備事業	13,638	学校教育課	14
				●		中伊豆小学校特別支援学級開設事業	2,900	学校教育課	15
				●		修善寺中学校通級教室開設事業	2,980	学校教育課	16
		2 安全で心地よい生活環境の創出	福祉・医療の充実		●	要支援者災害時避難事業	4,157	社会福祉課 危機管理課	17
				●		2025年デフリンピック開催準備事業	419	社会福祉課	18
				●		中伊豆交流センター再整備事業	41,667	健康長寿課	19
					●	げんきプロジェクト事業	1,215	健康長寿課	20
				●	●	重症化予防事業	8,583	健康長寿課	21
					●	地域医療体制検討事業	450	健康長寿課	22
			まちづくり・安心な推進		●	松原公園津波避難複合施設整備事業	755,799	危機管理課 観光商工課	23
					●	(仮称)日向公園整備事業	563,399	都市計画課 危機管理課	24
				●		危険空き家等対策補助事業	5,100	都市計画課 税務課	25
				●		車両一体型給水タンク購入事業	21,984	上下水道課 危機管理課	26
					●	リサイクルセンター整備事業	974,150	環境衛生課 建設課	27
				●	●	ゼロカーボン推進事業	7,020	環境衛生課	28
		3 産業力の強化	る地域内産業の発展性による活性化		●	東京2020レガシー創出事業	22,897	観光商工課	29
						伊豆市版DMO事業	11,734	観光商工課 伊豆市産業振興協議会	30
				●		萬城の滝周辺整備事業	99,261	観光商工課	31
				●		ふるさと観光地魅力化事業	30,000	観光商工課	32
					●	事業継承促進事業	2,050	観光商工課	33
			産豊富な農林水産資源の再構築	●	●	わさびの郷構想推進事業	80,374	農林水産課	34
				●	●	森林環境譲与税活用事業	91,930	農林水産課	35
				●		農業経営基盤強化事業	10,000	農林水産課	36
					●	農地維持対策補助事業	3,130	農林水産課	37

区分				新規	継続	拡充	事業名	予算額 (千円)	担当課	No.		
基本方針		重点目標	政策									
本格的な人口減少社会に向けた 戦略的対応	人口減少抑制戦略	4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上	人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現		●	●	移住定住促進事業	91,310	地域づくり課	38		
						●	こども園体験付きお試し住宅事業(再掲)	6,593	地域づくり課	-		
					●		「Izu you(移住) Connect」事業	8,141	地域づくり課	39		
					●		「IzuCamp.com(伊豆キャンどっと混む)Project」事業	21,326	地域づくり課	40		
						●	地域おこし協力隊推進事業	75,683	地域づくり課 農林水産課 観光商工課	41		
				●		伊豆文学祭関連事業	10,000	社会教育課	42			
				●		美術館建設推進事業	9,382	社会教育課	43			
					●	実学教育支援事業(再掲)	2,452	学校教育課 社会教育課 農林水産課	-			
					●	学校給食地元栽培米活用事業	2,478	学校教育課	44			
			人口減少適応戦略	5 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保	未来を切り拓くためのまちづくり		●		立地適性化計画策定事業	9,000	都市計画課	45
	●	●					修善寺駅前地区まちづくり検討事業	17,207	都市計画課	46		
		●					(仮称)日向公園整備事業(再掲)	563,399	都市計画課 危機管理課	-		
		●					松原公園津波避難複合施設整備事業(再掲)	755,799	危機管理課 観光商工課	-		
		●				バス路線維持事業	150,823	地域づくり課	47			
		●			●	交通利用助成事業	93,185	地域づくり課 社会福祉課 健康長寿課 学校教育課	48			
	●					交通ネットワーク検討事業	11,691	地域づくり課	49			
	●					高齢者運転アシスト機器設置補助事業	300	地域づくり課	50			
	将来にわたる安定的な 行財政運営の堅持	6 将来にわたる安定的な 行財政運営の堅持			安定した歳入の確保	●	●	●	収納対策強化事業	11,771	税務課	51
						●	●	●	ふるさと納税促進事業	555,077	企画財政課	52
						●	●	●	戦略的プロモーション事業	9,138	企画財政課	53
						●		未利用公共施設整理事業	30,342	用地管理課 上下水道課	54	
						●		借地解消事業	17,039	土肥支所 学校教育課	55	
						●		公共施設民間活用推進事業	97,000	観光商工課 上下水道課	56	
				●		包括的アウトソーシング事業	234,000	総務課 資産経営課	57			
●					マイナンバーカード普及促進事業	9,000	市民課	58				
●			●		自治体DX推進事業	64,136	地域づくり課 企画財政課 農林水産課 社会福祉課	59				

事業名	出会い・婚活支援事業	新規	●	予算額	R5	4,140 千円	担当課 (室)	企画財政課 地域づくり課
		継続	●					
		拡充	●		R4	3,371 千円		
		廃止						

1 事業目的

本市の少子化における大きな要因となっている未婚率の高さを解消するため、入り口である「出会い」や「結婚」の機会を創出する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【拡充】 婚活イベント支援業務委託料 (企画財政課)	未婚率解消に向け、民間事業者と連携した市の魅力や男女の効果的な交流機会を盛り込んだ婚活イベントを実施する。 ※R4実績:2回 ⇒ R5実施予定:3回	3,600
【新規】 婚活支援補助金 (企画財政課)	結婚を希望する方へのAIを活用した婚活マッチング支援を推進するため、県との連携事業である「ふじのくに出会いサポートセンター」の会員登録に係る費用(年会費)に対する補助(補助率:3/4)を行い、「出会い・婚活」を促進する。※県内自治体初の取組	240
【継続】 出会い支援事業補助金 (地域づくり課)	婚活イベントを実施する団体等に対し、補助金を交付する。 ※イベント1回につき上限5万円	300
合計		4,140

■伊豆市の未婚率の推移

区分	H27	R2	対H27
男性 (30～34歳)	56.4% (県内ワースト4位)	61.5% (県内ワースト7位)	+5.1
	静岡県: 46.3%	静岡県: 49.0%	+2.7
	全国: 44.7%	全国: 51.8%	+7.1
女性 (25～29歳)	69.8% (県内ワースト1位)	71.1% (県内ワースト4位)	+1.3
	静岡県: 56.9%	静岡県: 59.3%	+2.4
	全国: 58.8%	全国: 65.8%	+7.0

※静岡県公表『静岡県の少子化関連データ』より

No. 3

事業名	妊産婦サポート事業	新規		予算額	R5	1,653 千円	担当課 (室)	子育て支援課
		継続	●					
		拡充	●					
		廃止						
1 事業目的								
妊娠・出産に関する悩みや不安の解消、産後の母体ケアや育児支援のため、助産院や市内事業所と連携し、妊産婦に対するサポート事業を実施する。								
2 事業概要								
区分		内容				R5当初予算 (単位:千円)		
【継続】 にじいろ子育て応援事業 (産後ケア事業)		退院直後～産後1年の母子に対し、助産師による心身のケア及び育児サポートを実施。 (訪問型・通所型・宿泊型)				965		
【継続】 産前・産後寄り添い事業		妊娠・出産・育児に不安の強い妊産婦に対し、市内の助産院と連携して、担当助産師を紹介し、妊娠中から産後1年程度の間、継続した個別ケアによる寄り添い支援を行う。				300		
【継続】 産前・産後のママ応援事業		家族の支援が受けにくい妊産婦に対し、赤ちゃんの一時預かりや助産師やヘルパーによる支援、お弁当の配達事業を行う。				158		
【拡充】 ベビープログラム		2～7ヵ月児をもつ母親を対象に、育児不安の軽減や仲間づくりの機会を提供。 ・初めての子を持つ母対象…年間2クール ・ <u>第2子以降の子を持つ母対象…年間2クール(追加)</u>				230		
合計						1,653		

事業名	出産準備金支給事業	新規		予算額	R5	11,000 千円	担当課（室）	子育て支援課
		継続						
		拡充	●		R4	4,800 千円		
		廃止						

1 事業目的

産科が市内にないことから、市外に受診するための交通費や、受診券での公費負担額を超えた自己負担等の経済的負担を軽減し、安心して子どもを生み育てる環境整備の一環とする。

2 事業概要

令和5年度より受診券での公費負担額を超えた自己負担相当額を上乗せする。

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【拡充】 出産準備金補助事業	伊豆市内に住所を有し、かつ出産予定日において伊豆市に住所を有する見込みがあり、妊娠22週を迎えた者に胎児1人につき10万円を支給する。 【支給額】 <u>R4年度:4万円⇒R5年度:10万円に拡充</u> 10万円×110人	11,000

※国の出産子育て応援交付金事業とは別に実施する伊豆市単独事業

事業名	出産お祝い品配布事業	新規		予算額	R5	1,013 千円	担当課 (室)	市民課
		継続						
		拡充	●		R4	264 千円		
		廃止						

1 事業目的

出産及び産後休業期間中に係る経済的負担の軽減。
こども商品券を配布することにより、経済的負担の軽減を図り出産についての希望を持つことができる環境をつくり、その実現を後押しする。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
少子化対策支援事業 「出生お祝い品」	【継続】 少子化対策支援事業 婚姻お祝い品(1,200円×8人×12ヵ月=115,200円) 【条件】伊豆市に届出をし、どちらか一方の住民登録が伊豆市である人 出生お祝い品(1,200円×12人×12ヵ月=172,800円) 【条件】伊豆市に生まれた子の住民登録をおく人	288
	【拡充】 出生お祝い品と併せて、こども商品券を配布する。 ○少子化対策支援に係る経費(こども商品券) 5,000円×145人=725,000円	725
合計		1,013

3 参考資料

こども商品券は、全国のおもちゃ屋さんや百貨店スーパーの玩具売場、加盟のこども服・ベビー用品売場で利用可能。また、加盟の遊園地・水族館・動物園の入場券の購入等にも利用可能。

No. 6

1 事業目的																			
保育園・こども園に在園する園児(市外への委託児童を含む)にかかる保育料について、従来の第3子以降に加えて第2子が無償化の対象とすることで、子育て世代の保育に係る経済的負担の軽減を行い、子育て環境の充実を図る。																			
2 事業概要																			
○ 各こども園(保育園)への予算の対応																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>内容</th><th>R5当初予算 (単位千円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>私立こども園(保育園)</td><td>従来から実施していた第3子以降に加えて、第2子に係る保育料を無償化するため、運営費負担金や負担金を増額(歳出予算の増)</td><td>7,326</td></tr> </tbody> </table>		区分	内容	R5当初予算 (単位千円)	私立こども園(保育園)	従来から実施していた第3子以降に加えて、第2子に係る保育料を無償化するため、運営費負担金や負担金を増額(歳出予算の増)	7,326											
区分	内容	R5当初予算 (単位千円)																	
私立こども園(保育園)	従来から実施していた第3子以降に加えて、第2子に係る保育料を無償化するため、運営費負担金や負担金を増額(歳出予算の増)	7,326																	
※公立こども園については保育料の減免(歳入予算の減)のみ																			
○ 各年齢における保育料の負担の状況																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢区分</th><th>令和4年度まで</th><th>令和5年度以降</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">0～2歳児</td><td colspan="2">住民税非課税世帯 無償</td></tr> <tr> <td>住民税課税世帯</td><td>世帯の所得に応じて保育料を負担</td></tr> <tr> <td colspan="2">第1子 全額負担</td></tr> <tr> <td>第2子 半額負担</td><td>【新規】第2子 無償</td></tr> <tr> <td colspan="2">第3子以降 無償</td></tr> <tr> <td>3歳児～</td><td colspan="2">無償</td></tr> </tbody> </table>		年齢区分	令和4年度まで	令和5年度以降	0～2歳児	住民税非課税世帯 無償		住民税課税世帯	世帯の所得に応じて保育料を負担	第1子 全額負担		第2子 半額負担	【新規】第2子 無償	第3子以降 無償		3歳児～	無償	
年齢区分	令和4年度まで	令和5年度以降																	
0～2歳児	住民税非課税世帯 無償																		
	住民税課税世帯	世帯の所得に応じて保育料を負担																	
	第1子 全額負担																		
	第2子 半額負担	【新規】第2子 無償																	
	第3子以降 無償																		
3歳児～	無償																		

No. 7

1 事業目的	市内の小学校に入学した児童(1年生)に対して、お祝い及び子育て支援の充実を図ることを目的に応援金を支給し、未来の伊豆市を担う子どもたちを増やす。		
2 事業概要			
区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)	
【新規】 伊豆っ子未来応援金	【対象者】 ・伊豆市民で、市内の小学校に入学した児童(1年生) 【条件】 ・入学前に伊豆市に3年居住していること 【支給時期】 小学校入学時に支給 【支給額】 第1子=5万円 第2子=15万円 第3子以降=20万円 ※平成29年度生まれ…約150人 第1子 = 59人 × 5万円 = 295万円 第2子 = 52人 × 15万円 = 780万円 第3子 = 34人 × 20万円 = 680万円 第4子 = 5人 × 20万円 = 100万円 合計 1,855万円	18,550	

No. 8

1
事業目的
伊豆市で誕生した新生児に対し、誕生のお祝いの気持ちとして、伊豆市産材を使用した記念品のプレゼントを贈呈する。お祝いのプレゼントをする事で将来にわたり伊豆市への愛郷心の礎となり、進学等で一時的に離れたとしても故郷伊豆市で暮らし、子育ての場所につながることを目的とする。

2
事業概要
森林環境贈与税を活用して、伊豆市で生まれた新生児に向けて森林教育で間伐した伊豆市産材を使った記念プレートに手形、身長、体重、名前等をレーザーで焼付たものを贈る。
(森林環境譲与税活用事業)

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【新規】 出生祝い記念プレート作成費用	手形と名前、出生日、身長・体重などの記念となる情報を印刷した木製プレートの作成 1,164,000円×1.1=1,280,400円 修善寺和紙を使用したメッセージカード その他 運搬費 製材費等	1,600

事業名	子育てママ交流支援事業	新規	●	予算額	R5	610 千円	担当課 (室)	子育て支援課
		継続						
		拡充						
		廃止			R4	- 千円		

1 事業目的

ロータunda(生きいきプラザ広場)及び図書館を活用してイベントを実施することで、参加したママさんがグループを作り、自ら集会やイベントを開催することで子育て中の満足度をアップしてもらい、育児への意欲向上が芽生えることで第2子3子出生への更なる展開を期待する。

2 事業概要

リニューアルしたロータunda(生きいきプラザ広場)及び図書館において市内8箇所ある子育て支援センターが一室に会しイベントを実施する。この際に隣接する図書館に協力いただき集まった親子に対し絵本の読み聞かせを行い市の栄養士による絵本に出てきた料理を食育の観点を含み作ってみる体験を行う。

伊豆総合高校のeスポーツ部には子育て世代との交流の機会を提供し、集客のために、子どもが大好きな建設機械や消防車両を展示しオペレーター席での記念撮影で思い出作りをする。

【新規】

内容		R5当初予算 (単位:千円)
各支援センターから手作りおもちゃの配布 (制作・あそび体験)	おもちゃ作成材料費 8施設×10,000円	80
図書館による絵本の読み聞かせの実施	ぐりとぐら (ホットケーキを作る話)	-
絵本に出てきた料理を作る体験を実施 (ホットケーキミックスを使ったアレンジメニュー)	食材料費 (50食分)	20
伊豆総合高校による eスポーツ体験の実施	部活動 (子育て世代との交流)	-
建設機械の試乗体験 (子どもが大好きな機械に乗って記念撮影)	バックホー・高所作業車 (業務委託費)	410
イベント運営業務	会場運営及び音響管理等 (業務委託費)	100
田方南消防署による消防車等の展示	各緊急車両展示	-
合計		610

※イベントに集まった保護者に子育て団体応援補助金のチラシを渡し制度の説明及び活動の助言を行う。

※現在活動している子育てママ団体ファミリーズ(子育てママサークル)に参加いただきイベントの取材を含め活動の紹介及び新メンバーの勧誘等の実施。

【開催時期:6月中旬予定】

No. 10

1 事業目的		
伊豆市への移住定住の促進のため、現在実施している土肥のお試し住宅に加え、「山のお試し住宅」を設置する。		
2 事業概要		
子育て世代のお子様と一緒に、よりリアルな伊豆市での生活を体験してもらうため、こども園の一時入園(1ヶ月)もセットで実施可能とする。		
区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【拡充】 山のお試し住宅	<改修工事> 八幡町屋地区にある市所有住宅を改修し、長期滞在が可能なお試し住宅を整備する。	5,373
	<備品購入費> お試し住宅の生活に必要な備品を購入する	325
	<その他運営諸経費> 消耗品・光熱水費・清掃手数料 等	895
合計		6,593
お試し住宅 利用実績	土肥のお試し住宅にて2泊3日～6泊7日の間で伊豆市の暮らしを体験。利用料無料。 ※R5年度より貸出期間の延長と有料化を実施する	R1より運用開始 ・R1 18件 ・R2 13件 ・R3 10件 ・R4 17件

No. 11

1事業目的

児童生徒数の減少により、クラス替えができない、部活動を合同チームで行わなければならない、教科担任の確保が難しいなどの問題が生じていることから、一定規模の集団の中で伸び伸びと学べ、切磋琢磨できる教育環境を整備する。

2事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【継続】 新中学校整備事業	新中学校建築工事については、R5年6月の工事着工(国庫負担金上)からR6年11月の完成に向けて、肅々と工事を進めていく。 備品等の選定については、新規に購入するもの、3校から新中学校へ持っていくもの、断捨離するものを確定させるために備品部会を開催し、調整していく。 また、教室等のレイアウト調整を先生方と行い、過不足ない準備を進めていく。	1,781,787

3スケジュール

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新中学校整備	←→			
	←→			
	←→			
	←→			
	←→			

事業名	実学教育支援事業	新規		予算額	R5	2,452 千円	担当課 (室)	学校教育課 社会教育課 農林水産課
		継続						
		拡充	●		R4	830 千円		
		廃止						

1 事業目的

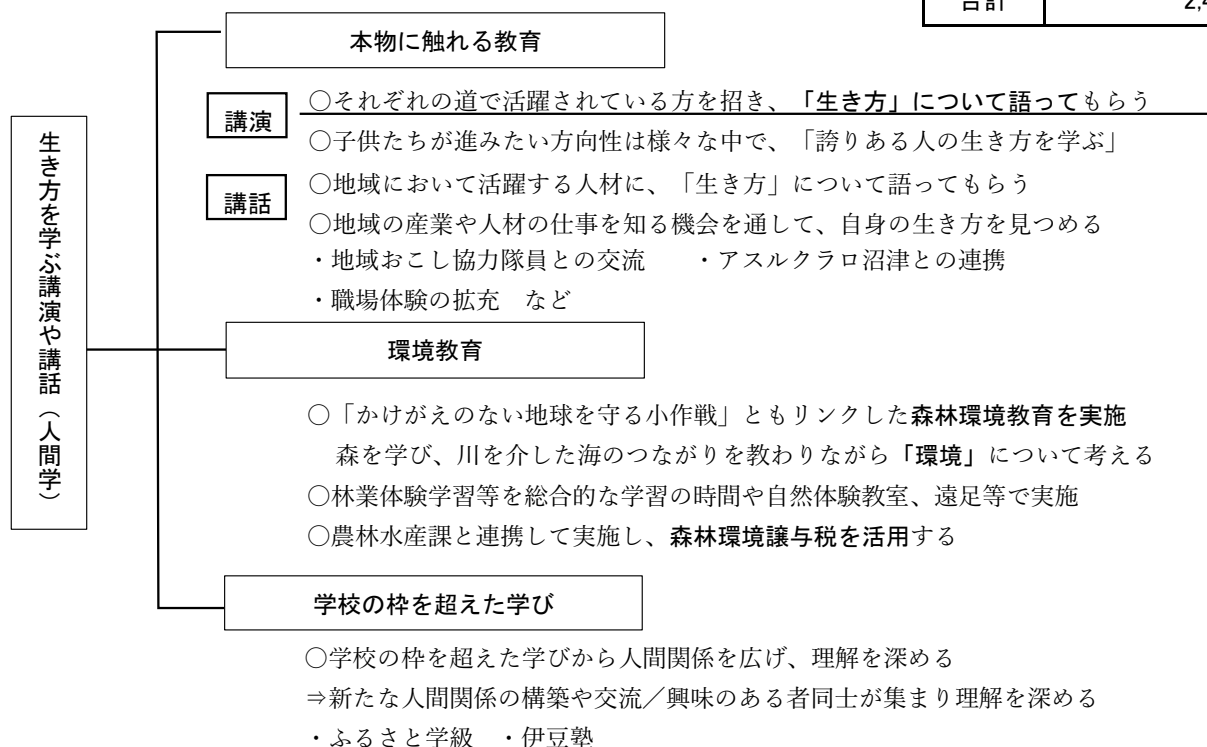
- ・「確かな生きる力を育む」という考え方のもと、伊豆市の子供たちが社会で生きていく術について実学を通して能動的に学んでいく
- ・伊豆市ならではの教育の特色の確立

2 事業概要

■実学について

「実学」を伊豆市の教育の柱として捉え、「本物に触れる教育」を視点に実学的要素の強い事業を学校の年間行事に組み、子どもたちが人生の幅を広げ、確かな生きる力を育むための支援を行う。

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
教育センター事業 ＜本物に触れる教育＞	・著名人による講演や地域で活躍される方による講話にて「生き方」について学ぶ	1,851
森林環境譲与税活用事業 ＜環境教育＞	・森林環境教育 林業体験学習等の自然体験教室 農林水産課と連携し森林環境譲与税を活用	農林水産課事業
教育部関連事業 ＜学校の枠を超えた学び＞	ふるさと学級を中心とした社会教育事業や伊豆塾など	601
合計		2,452



事業名	土肥地域高校魅力化支援事業	新規		予算額	R5	11,920 千円	担当課 (室)	地域づくり課
		継続						
		拡充	●		R4	4,720 千円		
		廃止						

1 事業目的

下宿費の補助による保護者の負担軽減や県外生徒の募集により、伊豆総合高校土肥分校への一定の入学者数を確保する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【拡充】 伊豆総合高校土肥分校下宿運営事業補助金	・土肥分校下宿者への下宿費補助(継続13名、新規見込10名分)	11,040
【継続】 地域みらい留学負担金	(一財)地域・教育魅力化プラットフォームを活用した「地域みらい留学」による県外生徒の募集に係る負担金	880
合計		11,920

3 参考

●地域みらい留学とは

都道府県の枠を超えて、社会課題の先進地である地域の学校に入学し立場や世代を越えた多様な人々と充実した3年間を過ごすこと。これにより、地域の高校存続のための定員確保や地元の高校が多様性のある魅力的な選択肢となることを目指す。

●地域みらい留学による取組み

1. 全国生徒募集における広報支援

- ①合同学校説明会の通年開催
- ②地域みらい留学のチラシ・Web・メディア掲載

2. 全国生徒募集を起点とした地域総ぐるみでの高校魅力化推進支援

- ①高校魅力化推進に向けた研修・交流会の実施
- ②高校魅力化推進に向けた情報・ツールの提供

事業名	児童待合所整備事業	新規		予算額	R5	13,638 千円	担当課 (室)	学校教育課
		継続						
		拡充	●		R4	6,784 千円		
		廃止						

1 事業目的

●中伊豆小学校及び修善寺南小学校、並びに天城小学校に校舎や周辺の空き施設を活用した児童待合所を整備することで、子どもたちが放課後に安心してバスや親の迎えを待つことができる居場所を創出する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
人件費	・学校支援員 報酬、期末手当、共済費、費用弁償 ・児童待合支援員派遣業務委託料 ※天城小新規開設に伴い1名分を拡充	8,235
工事請負費	・エアコン等設置工事 ※天城小新規開設分 2,924千円 ※中伊豆小トイレ設置工事 1,200千円	4,124
備品購入費	・児童待合所用備品 ※天城小新規開設分 132千円	280
その他	消耗品、電気料、上下水道料、修繕料 等 ※天城小新規開設に伴い増額	999
合計		13,638

No. 15

1 事業目的

令和5年度、中伊豆小学校に特別支援(自閉・情緒)学級を新設し、自閉・情緒面で困難さを抱える児童が学習に向きやすい環境を整えながら、学校全体の学びの質を高める。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【新規】 中伊豆小学校特別支援学級開設事業	○施設改修工事 新設流し設置工事 1,900千円 間仕切りカーテン取付工事 640千円	2,540
	○施設備品購入費 衝立・作業台・ホワイトボード・パーティション・3段チェスト	360
合計		2,900

3 中伊豆小学校特別支援学級の概要

中伊豆小(自閉情緒)

(1)指導内容

・指導担当…県費教職員(中伊豆小学校教職員)

・指導対象…学校教育法第81条(特別支援学級)、文部科学省通知(令和4年第375号)により、対象となる児童生徒の障害の程度については下記のとおり。

「一 自閉症又はそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難である程度のもの」

「二 主として心理的な要因による選択性かん黙等があるもので、社会生活への適応が困難である程度のもの」

・指導内容…学校教育施行規則第140条(障害に応じた特別の教育課程)により特別支援学校の学習指導要領を参考に、対象生徒の障害の状況に応じて「特別の教育課程」を編成する。

事業名	修善寺中学校通級教室開設事業	新規	●	予算額	R5	2,980 千円	担当課 (室)	学校教育課
		継続						
		拡充			R4	- 千円		
		廃止						

1 事業目的

軽度の発達障害を有する生徒を対象とした、通級指導教室を修善寺中学校に新設することで、生徒それぞれが、個々の適性にあった学びを選択し、主体的に学ぶ環境を整える。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【新規】 修善寺中学校発達障害通級指導 教室新規開設	○施設改修工事 エアコン設置工事	2,600
	○備品購入費 衝立・パーテーション設置	380
	合計	2,980

中学校指導教室

(1)指導時間

- ・指導担当…県費教職員(修善寺中学校教職員)
- ・指導時間…修善寺中学校生徒は、自校通級として週1～2時間程度
天城中学校、中伊豆中学校、土肥小中一貫校(後期課程)は他校通級として週1～2時間程度。
保護者送迎または公共交通機関利用により修善寺中学校にて指導を受ける。あるいは、指導教員による巡回指導を自校で受ける。
担当教員は、入級生徒の指導時間を割り振り週24時間指導する。
- ・指導内容…学校教育法施行規則第140条及び第141条の規定に基づき、通常の学級での学習におおむね参加でき、伊豆市就学支援委員会にて通級による指導を受けることが適当であると認められた者で、次の障害を持つ者
イ 自閉症者 ウ 情緒障害者 カ 学習障害者 キ 注意欠陥多動性障害者

(2)利用の見通し(令和4年度第1回就学支援委員会より)

- ・通常学級において特別な支援が必要と判断されている生徒
(中1・2)修善寺中10名、土肥1名、天城6名、中伊豆3名
(小6)13名
* 通級指導教室を利用している小6 6名

(3)開設教室

- ・教室の場所に関しては現在、他校から来ることも考慮し生徒昇降口に近い1階で検討中。
- ・現状により、エアコンやクールダウンのためのカーテンによる間仕切りやパーテーションが必要になる。

事業名	要支援者災害時避難事業	新規		予算額	R5	4,157 千円	担当課 (室)	社会福祉課 危機管理課
		継続						
		拡充	●		R4	- 千円		
		廃止						

1 事業目的

●災害時や災害が起こるおそれのある時に、在宅で生活する要支援者が安心して避難することができるよう、個別避難計画を策定するとともに、避難所への要支援者用備品の整備を実施する。併せて平時における個別避難計画作成や被災後の生活再建に必要となる、リ災証明書と被災者台帳の作成・管理機能を有する被災者生活再建支援システムを導入する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【拡充】 個別避難計画作成謝礼	個別避難計画の作成支援者に対する謝礼 1計画あたり7,000円	700
【継続】 要支援者用備品購入	避難所における要支援者用消耗品・備品を購入する。 (非常用介護食、乳児用液体ミルク、アルミマット、ポータブルトイレ(テント付)、段ボールベッド、パーテーション)	1,061
【拡充】 被災者生活再建システム使用料	○被災者生活再建支援システム システム導入費概要 ・初期費用 298,100円 ・利用料 22,000円/月 ・導入研修 715,000円 ・建物被害認定調査モバイル 260,700円 ・調査モバイル管理端末 858,000円 ○システム概要 避難行動要支援者個別避難計画の作成機能 被災者台帳作成管理機能 リ災証明書作成管理機能 等	2,396
合計		4,157

3 個別避難計画に記載する内容

- ・避難時の配慮事項
- ・同居家族、緊急時の連絡先
- ・普段いる部屋、寝室の位置、不在時の目印などの特記事項
- ・避難支援者情報
- ・避難場所、避難経路、移動手段

事業名	2025年デフリンピック開催準備事業	新規	●	予算額	R5	419 千円	担当課 (室)	社会福祉課
		継続			R4	- 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

2025年11月日本開催予定のデフリンピックに向けた「夢を育もう！2025デフリンピックinIZU」プロジェクトの第二弾。障害のある人となない人とのコミュニケーションは“誰一人取り残さない”SDGsの実現への更なる前進となるもの。伊豆市会場を盛り上げ、自転車アスリートや参加者をもてなし、手話で応援できるよう手話言語を啓発強化するための事業。

2 事業概要

2025年に開催されるデフリンピックに向けて、手話言語教室の開催などおもてなし体制を強化する。

観光商工課と連携し、手話言語の国際デーを盛り上げる。

地域生活支援事業(理解促進研修・啓発事業)補助金を活用する。

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【継続】 手話言語教室	手話が言語であるという認識に基づき、聴覚障がい者に対する正しい知識や理解を深めるため伊豆市民へ手話の普及を促進するための講座を実施する。 小中学校へ協力を依頼し、児童・生徒へチラシを配布し募集する。高校生以上は市民講座で対応し、広報いず等で募集する。市職員対象の講座は、総務課と調整し職免扱いで受講できる体制を継続する。市職員は、来庁した聴覚障がい者との窓口対応の円滑化を目指す。 こども手話教室(2回)、市民手話教室(1回) 市職員向け手話教室(3回) 講演会(1回) 予算 講師謝礼 222千円 消耗品 20千円 印刷製本(講演会チラシ)86千円	328
【新規】 フォローアップ研修	手話講座及び手話奉仕員養成研修の修了生を対象にフォローアップ研修を実施する。(1回) デフリンピックのおもてなしサポーターとして協力体制を構築する。 予算 講師謝礼 17千円	17
【新規】 手話言語の国際デー啓発	国際デー期間中(9月)観光商工課と連携し、旭滝にブルーライトアップし、啓発する。 予算 消耗品 のぼり旗 30枚 伸縮ポール 30本 その他 社会福祉大会(10月)、障害者週間(12月)は、手話サークルかえで友の会による活動展示、手話体験を行う。	74
合計		419

事業名	中伊豆交流センター再整備事業	新規	●	予算額	R5	41,667 千円	担当課 (室)	健康長寿課
		継続						
		拡充						
		廃止			R4	- 千円		

1 事業目的

- ・温泉施設として、市民及び市内事業所に勤務する者の地域コミュニティ形成と機能強化を図り、活力あるまちづくりの形成を目的とした施設。
- ・施設の耐震性がないため、白岩の湯以外の建物を解体し、新しい受付所を建設する。

2 事業概要

区分	内容	当初予算 (単位:千円)
【新規】 中伊豆交流センター(解体・建設)	中伊豆交流センター本館及び旧保健センターの耐震性能がないため解体を行い、新しい受付所をユニットハウスで建設する。 ①既存建物解体 予算 12,736,109円 ・交流センター本館 501.88㎡ ・旧保健センター(機能訓練室) 175.76㎡ ②入浴施設改築 4,180,000円 ・外装塗装、内部改修(浴室、脱衣所) ③入浴施設受付所新築工事 24,750,000円 ・ユニットハウス4連棟平屋 74㎡ (受付カウンター、事務スペース、待合休憩スペース、トイレ、渡り廊下、入口から浴室までのバリアフリー化等)	41,667

R5 スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
休館、改修の周知				施設解体		新築改修		再開準備	営業再開 (12月中予定) 水質検査結果により再開変更
通常営業				休館					

No. 20

事業名	げんきプロジェクト事業	新規		予算額	R5	1,215 千円	担当課 (室)	健康長寿課
		継続	●					
		拡充	●		R4	254 千円		
		廃止						

1 事業目的

特定健診の結果から、伊豆市は高血圧や糖尿病などの生活習慣病の有病者が県内でも突出して多い現状があり、重要な健康課題となっていることから「減塩(げ)」「運動(ん)」「禁煙(き)」のげんきプロジェクトを推進し、元気な伊豆市を目指す。

2 事業概要

区分	【内容】	R5当初予算 (単位:千円)
【拡充】 《げ》減塩	野菜摂取量測定器リース料(長期継続契約5年) 野菜の摂取状況を数値として“見える化”するための野菜摂取量測定器をレンタルし、健診結果報告会、月1回実施している「まちの保健室」等で参加者の野菜摂取量を測定し、摂取状況によって保健指導を行う。 ※野菜摂取は、摂り過ぎた塩分を尿中に排泄する効果がある。その他に食後血糖値の急激な上昇を防ぐ作用や肥満予防にも効果があるが、伊豆市食育推進計画では「毎食野菜をとるよう意識している割合」が67.9%と低い。野菜を多く摂取することで、高血圧予防につながるため、げんきプロジェクトの「減塩対策」の一つとして展開していく。	716
【継続】 《ん》運動	・ノルディックウォーキング ・ウォーカーズ銭湯 ・運動習慣定着事業や生活習慣病重症化予防の運動教室	445
【継続】 《き》禁煙	禁煙教室 ・禁煙の相談、禁煙外来の紹介 ・公共施設の受動喫煙防止策を検討 (子育て支援課・観光商工課・社会教育課と連携)	54
合計		1,215

No. 21

事業名	重症化予防事業	新規	●	予算額	R5	8,583 千円	担当課 (室)	健康長寿課
		継続	●		R4	4,979 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的
生活習慣病を起因とする糖尿病などの各種疾病の重症化予防教室による指導を実施し、早期に生活習慣改善に向けて保健指導を行うことで人工透析になる時期を遅らせ国保の医療費削減を目指す

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【新規】 糖尿病性腎症重症化予防事業業務委託料	○精緻なレセプト分析技術の特許を持った民間事業者 に委託し、対象者の抽出・優先順位の決定、オンライン やアプリを活用した専門職による個別指導を行い、効果 検証・報告までを実施 ○対象者 40歳～74歳の伊豆市国民健康保険加入者のうち、 特定健診データで糖尿病検査数値の高い人。 また、レセプト情報から糖尿病で通院している人。(専 門医に通院している人は除く)	4,850
【継続】 生活習慣病重症化予防教室 業務委託料	○運動や食事などの生活習慣の改善から重症化予防す るための個人対応型健康づくり教室の実施。歩数や活 動量など健康に関するデータ化したアプリを活用した健 康管理を実施。 ○40歳～74歳の伊豆市国民健康保険加入者のうち、 特定健診の結果により、特定保健指導に該当する人	3,308
【新規】 運動習慣定着事業業務委託	○有酸素運動や筋トレ等を体験してもらう、個人の生活 パターンに合わせた運動習慣を定着を目指す。運動習 慣を定着させることで生活習慣病の重症化予防を図る。 ○対象者 40歳～74歳の伊豆市国民健康保険加入者のうち、特 定健診の結果により肥満など生活習慣病予備軍など特 に運動施設を利用したことがない人を優先。	425
合計		8,583

事業名	松原公園津波避難複合施設整備事業	新規		予算額	R5	755,799 千円	担当課 (室)	危機管理課 観光商工課
		継続	●					
		拡充			R4	656,401 千円		
		廃止						

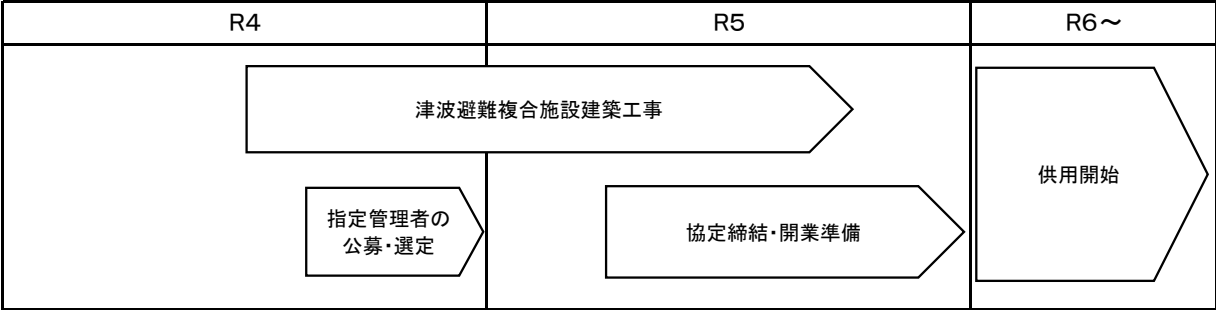
1 事業目的

津波避難困難地域である土肥松原公園周辺エリアにおいて、海水浴等観光客、公園利用者、地元住民が安全に避難でき、平常時は地域住民及び観光客の交流拠点として活用し産業振興を図ることができる、津波避難複合施設を整備する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
松原公園津波避難複合施設整備工事	●施設概要 ・地上4階建て 高さ18.8m (避難スペースは海拔14m以上に配置) ・避難面積626㎡(想定避難者数1,230人) ●施設機能 ・災害時:一時避難スペース、防災備蓄等 ・平常時:地域交流の場、農林水産物、物産品等の物販 飲食の提供、観光・地域情報の発信 海水浴場との連携	755,799

3 スケジュール



事業名	(仮称)日向公園整備事業	新規		予算額	R5	563,399 千円	担当課 (室)	都市計画課 危機管理課
		継続	●					
		拡充			R4	444,820 千円		
		廃止						

1 事業目的

発災が懸念されている南海トラフ巨大地震などの大地震や津波、豪雨等に対して、自衛隊等の活動拠点や不足している応急仮設住宅の建設用地確保のため、防災公園の整備を行う。また災害時だけでなく、平常時においても市民に親しまれる公園の整備を進める。

2 事業概要

●公園部分(都市計画課)

事業	内容	R5当初予算 (単位:千円)
管理棟・トイレ棟建設実施設計委託	管理棟(1棟)・トイレ棟(1棟)の実施設計 ○施設の概要 管理棟:1F約550㎡、2F約100㎡ 計約650㎡ トイレ棟:約90㎡、男(小便器5基、大便器4基) 女(9基)・多目的トイレ1基	25,000
公園管理運営計画策定業務委託	防災公園としての管理運営計画及び管理運営基本方針の策定	7,000
工事監理業務委託	造成工事に伴う設計監理業務	9,400
公園整備工事	造成工事 施設整備工事	396,600
土地購入費	静岡県土地開発公社からの買戻し分 (用地買収費・事務費・金利分)	100,000
その他	旅費・消耗品等	526
合計		538,526

●防災施設部分(危機管理課)

事業	内容	R5当初予算 (単位:千円)
電波無線調査業務委託	各種機器整備に伴う電波調査 (同報無線、Jアラート、行政無線)	4,000
申請手数料	省エネ計画、申請手続き	753
ホーリング調査業務委託	ホーリング調査	1,320
日向公園整備工事	造成工事(防災棟取付道路部)	10,000
非常電源供給線埋設工事	新中学校～防災棟間非常電源供給線埋設 L=270m	8,800
合計		24,873

③スケジュール

	R4	R5	R6	R7	R8	R9～
公園部分	実施設計			●新中学校開校		●全体供用開始
	北側造成工事		北側施設整備工事	●一部供用開始（北側）		
	用地買収	南側造成工事		南側施設整備工事		
	管理棟・トイレ棟建設実施設計		管理棟・トイレ建設工事			
	公園管理運営計画策定					
防災施設部分	防災倉庫棟実施設計		補正予算計上	防災倉庫棟建築工事	●防災棟供用開始	
	埋設工事		確認申請			

事業名	危険空き家等対策補助事業	新規	●	予算額	R5	5,100 千円	担当課 (室)	都市計画課 税務課
		継続						
		拡充			R4	- 千円		
		廃止						

1 事業目的

適切に管理されていない空家等が市民生活に影響を及ぼしている事に鑑み、災害時における住宅密集地内の空地及び緊急輸送路ルート等の確保を目的とし、市内の老朽化した空家等の所有者等に対し、当該空家等の除去に要する費用の一部を補助。

当該補助に関しては、固定資産税の減免と一体で行うものであり、対象地区において空き家を除却した場合は、住宅用地の特例相当の固定資産税を減免する。

2 事業概要

(1)補助制度

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
老朽空き家等除却支援事業補助金	【新規】 対象区域の空家を除却した場合、補助対象経費の2分の1以内、補助上限額50万円 ○対象区域:都市計画区域における以下の地域 ・商業地域及び第二種住居地域(上神戸、中神戸、下神戸、小坂、弁天、小山、桂町、遊覧町、本町、南町) ・地域生活地区(土肥、八幡、青羽根) ・幹線道路沿道地区(全域) ○対象者:空き家を所有者又は管理する者及び相続人	5,100
	【継続】 市内の空家を除却した後に敷地を公用または、公共の用に利用できる場合は、補助対象経費の2分の1以内、補助上限額300万円 ただし、除却後の敷地を伊豆市に寄付することが条件	
合計		5,100

(2) 固定資産税減免

固定資産税の減免規定に、空き家の除却による市長特認の減免規定を新たに加える旨の改正議案を3月定例会に上程する。

【改正内容】

○減免対象

伊豆市老朽空き家等除却支援事業補助金(都市計画課)の交付を受け、空き家を解体・除却した土地であって、かつ空き家を取り壊す時点で地方税法及び条例に定める「住宅用地の特例」の適用を受けているものに限定する。(200㎡以下の小規模住宅用地及び200㎡超の住宅用地)

○減免額

当該土地が、住宅用地特例の適用があるものとして算出した固定資産税の額の差額相当分とする。

○減免の対象期間

空き家の解体・除却が完了し、住宅用地の特例の適用が解除された日の翌年の1月1日を賦課期日とする年度から5年度分とする。

○効果

所有者が建物を解体することで、土地の固定資産税が高くなってしまふことへの不安が解消され、解体の意思決定を行う動機づけとなる。

事業名	車両一体型給水タンク購入事業	新規	●	予算額	R5	21,984 千円	担当課 (室)	上下水道課 危機管理課
		継続						
		拡充			R4	- 千円		
		廃止						

1 事業目的

断水を伴う大規模な災害や漏水事故において、避難所等を拠点とした家庭用飲料水の応急給水を行うため、車両一体型給水タンクを購入する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【新規】 車両一体型給水タンク購入	○購入台数:1台 ○積載容量:3,000ℓ ○用途 ・家庭用飲料水の応急給水 ※加圧式ポンプが搭載されているため、病院や福祉施設などの高所に設置されている受水槽への応急給水も可能。 ・大規模災害による他自治体への応援給水 ・防災意識の向上を図るため、地域の防災訓練やイベント等での活用	21,984

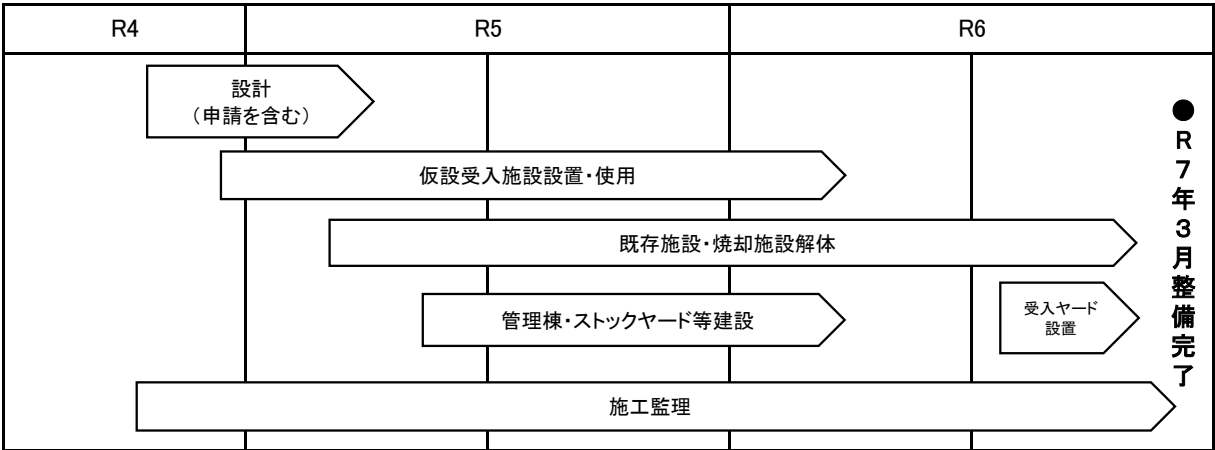
事業名	リサイクルセンター整備事業	新規		予算額	R5	974,150 千円	担当課 (室)	環境衛生課 建設課
		継続	●					
		拡充			R4	198,213 千円		
		廃止						

1 事業目的
新ごみ処理施設整備に伴い、廃止される伊豆市清掃センター焼却施設を解体するとともにリサイクルセンターの整備を行う。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
リサイクルセンター整備事業	・リサイクルセンター設計建設業務委託料 946,550千円 (令和4年度～令和6年度債務負担行為設定事業) ・リサイクルセンター施工監理等業務委託料 12,100千円 (令和4年度～令和6年度債務負担行為設定事業) 【建築施設】 金属不燃物処理施設(1F)・管理棟(2F)、ストックヤード2棟、受入ヤード、計量棟、災害廃棄物置場 【解体施設】 焼却施設、既存保管施設、缶プレス施設棟、事務所棟	958,650
進入路整備	測量及び詳細設計業務	15,500
合計		974,150

スケジュール



事業名	ゼロカーボン推進事業	新規	●	予算額	R5	7,020 千円	担当課 (室)	環境衛生課
		継続						
		拡充	●		R4	1,000 千円		
		廃止						
1 事業目的								
伊豆市ゼロカーボン戦略に対応するため、「創エネ蓄エネの推進」「ごみ減量化」「脱プラスチック推進」を推進し、「ゼロカーボンを進める計画」を策定・実行することで、市内のゼロカーボン化を進める。								
2 事業概要								
区分		内容				R5当初予算 (単位:千円)		
【拡充】 1 ≪創エネ蓄エネの推進≫		エネルギーをつくり出す「創エネ」と蓄える「蓄エネ」を進めるための取組みを行う。 ①住宅用蓄電池システム設置費補助金 ・(蓄電池補助金に追加)ホームエネルギーマネジメントシステム・太陽光発電同時設置補助金 ②住宅用電気自動車充電システム設置費補助金(V2H設備補助金) ・(電気自動車受電設備に追加)ホームエネルギーマネジメントシステム・太陽光発電同時設置補助金				3,500		
【拡充】 2 ≪ごみ減量化≫		生ごみの焼却量を削減することで、温暖化ガス削減につなげる。 生ごみ処理機購入費補助金 ※従来のコンポスト購入に対する補助に加え、生ごみ処理機(電動)を購入し食品ロスに関するモニタリング調査を実施する方に対する補助を追加(購入額の2/3、上限4万円)				880		
【新規】 3 ≪脱プラスチック推進≫		伊豆市ゼロカーボン戦略の重要な要素である「脱プラスチック」を進める。 脱プラスチック啓発品(麦ストロー)作成業務委託料				220		
【新規】 4 ≪ゼロカーボンを進める計画≫		ゼロカーボン戦略を進めるための計画づくりを進める。 「環境基本計画」の更新を行う準備として、「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)簡易版」を作成する。 ゼロカーボン戦略検討支援業務委託料				2,420		
						合計	7,020	

事業名	東京2020レガシー創出事業	新規		予算額	R5	22,897 千円	担当課 (室)	観光商工課
		継続	●					
		拡充			R4	22,353 千円		
		廃止						

1 事業目的

伊豆市自転車まちづくり基本計画に基づき、2021年に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とした市民と来訪者が自転車を利用する自転車を軸としたまちづくりを進める。

また、伊豆市アクション&レガシープランに基づいた東京2020大会をきっかけにした成果を未来につなげる(レガシー)のための取組を行い、自転車(サイクリング)文化が市民の心や生活・文化に根付く事業を実施する

2 事業概要

オリパラ競技会場の聖地化		
区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
CSC(サイクルスポーツセンター)の活用	・ジャパン・マウンテンバイク・カップ大会負担金(オリパラレガシー大会) 4,000	4,198
	・国内外の各種自転車競技大会への協力・開催 198	
市民のCSCの利用促進	伊豆ベロドローム、伊豆MTBコース試乗体験会等の開催 7,705	8,005
県整備のMTB練習コースの活用	練習用MTBコースの試走体験等の開催 300	
合計		12,203

自転車を活用したまちづくり				
区分		内容		R5当初予算 (単位:千円)
自転車まちづくりの拠点整備	自転車整備店設置補助金	500千円×1件	500	3,589
	バイシクルピット設置		513	
	サイクルステーション運営		1,541	
自転車を活用したコンテンツ開発と販売	自転車を活用したサイクリングツアーのコンテンツ開発支援		1,035	
市民の自転車乗れる率100%を目指す取組み	ランニングバイク教室、自転車乗り方教室		1,529	7,105
	自転車購入補助	30千円×100台	3,000	
地域密着型自転車プロチームとの協働	コースウォーキング、試走体験、ランニングバイク及び自転車乗り方教室の開催に伴うアスリートの参画		1,006	
自転車競技の普及	レガシー大会への支援と協力、自転車を活用したまちづくり市町村長の会		1,570	
			合計	10,694

事業名	伊豆市版DMO事業	新規		予算額	R5	11,734 千円	担当課 (室)	観光商工課 伊豆市産業振興協議会
		継続						
		拡充	●		R4	10,109 千円		
		廃止						

1 事業目的

伊豆市ならではの旬な体験(食も含む)、ちょっとした驚き・感動、非日常を観光客に味わってもらうことで、再度伊豆市を訪れたいと思ってもらうことを目指し、地域の魅力の掘り起こしと磨き上げを行う。

また、令和4年度に立ち上げた、観光コンテンツの紹介に加え、予約・決済が可能なサイト『いずたびpick Up!』の登録事業者、利用者の増加に向けて、新たなコンテンツ造成やプロモーションを実施する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
コンテンツ造成事業	1 コンテンツ造成事業 観光事業関係者や地域住民、各種団体等と協力し、新たな観光コンテンツ造成を行い『いずたびpick Up!』での販売を行う。 2 体験型商品推進事業 伊豆市の農産業と体験を通じて、伊豆市の新たな観光誘客につなげることを目的としたグリーン・ツーリズムを推進。 3 花と観光連携プロモーション事業 日本一の早咲きと言われている土肥桜を観光コンテンツとして磨き上げ、土肥地区及び伊豆市への誘客数を増加させる。	3,224
【拡充】 いずたびpick Up!サイト運営及びプロモーション事業	伊豆市版DMO観光DX化事業『いずたびpick Up!』のサイト運営及びプロモーションの実施	6,526
ガイド養成支援事業	観光コンテンツ磨き上げ及び商品化に向けた、ガイド養成支援 R4年度立ち上げた「伊豆市ガイドクラブ連絡会」への支援 (R4年度立上中の3団体含む8団体分)	968
市民ツアー事業	市民が地域の魅力を再発見し、参加した市民から情報の発信を図る。 (1) ツアー実施 年4回 (2) 参加対象者 伊豆市内在住者へ公募	1,016
合計		11,734

事業名	萬城の滝周辺整備事業	新規	●	予算額	R5	99,261 千円	担当課（室）	観光商工課
		継続						
		拡充						
		廃止						
					R4	- 千円		

1 事業目的

萬城の滝の魅力向上及び来訪者の駐車スペースの確保のため、周辺整備を実施する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位: 千円)
展望デッキ設置工事	既設の木橋を渡し、滝を両サイドから鑑賞できるように歩道を整備するとともにビューステージを設置する。	40,000
駐車場整備工事	駐車場整備: 3,300㎡ 不動産等鑑定 1,375千円 土地購入 2,186千円 立木補償調査 1,100千円 立木補償 600千円 駐車場整備工事 54,000千円	59,261
合計		99,261

No. 32

1 事業目的		
伊豆市の観光地としての魅力向上・ブランド化に向けて、関係団体との協議により整備計画を取りまとめ、ふるさと納税を活用しながら地域一体となった観光施設整備を実施する。		
2 事業概要		
R5年度は市内4地区のライトアップ環境の整備を実施。R6年度以降は、毎年1地区ずつ魅力化整備を実施していく。		
区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
ふるさと観光地魅力化整備設計業務委託	屋形海岸ライトアップ設計業務委託(土肥地区)	8,200
	その他ライトアップ設計業務委託 (修善寺地区・天城湯ヶ島地区・中伊豆地区)	1,800
ふるさと観光地魅力化整備工事	修善寺温泉街ライトアップ整備工事(修善寺地区)	6,500
	出会い橋周辺ライトアップ整備工事(天城湯ヶ島地区)	6,500
	萬城の滝ライトアップ整備工事(中伊豆地区)	7,000
合計		30,000

No. 33

1 事業目的

市内の中小企業者の高齢化や後継者問題などを踏まえ、事業承継に向けた取組みを行う場合に必要な経費の一部を補助と事業承継の啓蒙を行うことにより、中小企業者の円滑な事業承継を促進し、中小企業者の優れた技術や経営資源を将来にわたって継続させ、雇用の場を確保することを目的とする。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
事業承継促進事業	○事業承継事業費補助金 事業承継に積極的に取り組む市内中小企業者に対し、事業承継に向けた計画策定等を専門業者(税理士、法律事務所、会計事務所、コンサルティング会社等)に委託して行う具体的な取組に要する経費の一部を補助する。 ・対象経費 ①事業承継計画の策定委託料、課題分析等のコンサルティング委託料など、事業承継に向けた具体的な取組に要する費用 ②後継者マッチングに係る費用 ・補助額 対象経費の2分の1(上限50万円) 50万円×3件＝150万円 ※補助対象経費が10万円以上のものに限る	1,500

事業名	わさびの郷構想推進事業	新規	●	予算額	R5	80,374 千円	担当課 (室)	農林水産課
		継続	●					
		拡充			R4	17,927 千円		
		廃止						

1 事業目的

「伊豆市わさびの郷構想」に基づき、基本方針である「地域の活性化」、「わさびの生産振興と継承」、「自然環境の保全と景観形成」、「拠点の整備とネットワークの形成」に関する事業を推進し、もって「わさび」をキーワードとした総合的な地域振興を図ることを目的とする。

2 事業概要

「拠点の整備とネットワークの形成」の一環として、中伊豆原保地区(八岳地区)にわさびに関する生産、歴史、環境保護、世界農業遺産、景観など様々な情報発信を行う拠点を整備する。また、「わさびの生産振興と継承」の一環として、伊豆地域の水わさび名称の適切な保護と生産者の利益増進を図るため、関係機関と連携しながら地理的表示保護制度(GI)の登録を進める。

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【新規】 わさびの郷拠点施設整備	【中伊豆原保地区(八岳地区)の拠点整備計画】 JAふじ伊豆原保集荷場(旧JA伊豆の国原保支店金融店舗部分180㎡)を活用し、わさびに関する生産、歴史、環境保護、世界農業遺産、景観など様々な情報発信を行う拠点を整備する。	80,000
【継続】 地理的表示保護制度(GI)認証	・GI登録申請に向けた機運醸成や登録手続き等に係るヒアリング講師への謝礼、旅費	374
合計		80,374

事業名	森林環境譲与税活用事業	新規	●	予算額	R5	91,930 千円	担当課 (室)	農林水産課
		継続	●		R4	19,449 千円		
		拡充	●					
		廃止						

1 事業目的

森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度の実施に向けた取り組みを進めるとともに、地元木材活用の推進を図る。

2 事業概要

[新規]公共施設への地元材活用、学校の木質化、出生記念品配布等により、木材活用を推進する。

[継続]竹林整備や道路沿線の修景伐採を実施し、快適な環境づくりに取り組む。

[拡充]森林経営管理制度の実施に向け、モデル地区での意向調査、現地調査、森林整備に取り組む。

区分		内容	R5当初予算 (単位:千円)
新規	新中学校市産材活用	材料調達～納品	14,550
	牧之郷駅周辺整備工事	木柵設置 (H=3m×L=20m、H=2m×L=10m)	15,000
	新生児市産材活用祝い品配布(再掲)	新生児に市産材を使った手形、身長、体重、名前等を印刷した記念プレートを配布	1,600
	地元産材活用支援補助金	住宅新增改築助成、製材業者助成	8,000
継続	沿道森林整備補助金	修景伐採(修善寺地区の市道L=1.0km)	5,000
	竹林整備補助金	放置竹林皆伐(A=1ha)	2,000
拡充	森林情報調査	修善寺モデル地区森林所有者宛て事前アンケート	4,500
	森林経営管理業務	中伊豆モデル地区森林整備(A=10ha)	5,500
	森林現地調査	天城モデル地区追跡調査、現地調査	7,000
	森林環境教育	市内こども園7園、小中学校10校	6,715
	林道補修工事	白沢線(小土肥地内)	5,000
	ナラ枯れ対策補助金	危険木処理 椎茸栽培用日除け木被害防止(殺菌剤樹幹注入)	5,000
	森林整備補助金	未整備森林の整備、人材育成(資格取得助成)	9,000
その他		会計年度任用職員報酬、協議会委員謝礼、消耗品、事務備品購入等	3,065
合計			91,930

No. 36

1 事業目的

令和4年5月に農業経営基盤強化促進法の一部を改正する法律が施行され、令和5年度より地域計画の策定が義務付けられたことから、今後10年後の農地利用の在り方について、農地所有者や耕作者が地域の農業や農地の今後の利用方法等について話し合いを行い、目標地図を作成して、その内容を公表する。

2 事業概要

令和5年度は話し合いに必要な将来的な農地利用に関するアンケート調査と現状の農地利用の意向を地図化し、令和6年度以降に計画策定に向けた話し合いを順次進める。

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画策定業務	○市内農地所有者に対するアンケート調査 ○地域計画策定に向けた話し合いに使用する資料作成	10,000

【令和6年度以降】

地域計画(目標地図)策定に向けた話し合いを全地区(大字単位・部農会単位等)で順次進めていく。

事業名	農地維持対策補助事業	新規		予算額	R5	3,130 千円	担当課 (室)	農林水産課
		継続						
		拡充	●		R4	1,980 千円		
		廃止						

1 事業目的

遊休農地の発生防止、解消を図り、農地の有効活用や流動化促進等を目的とした市単独の補助金制度で、農地の利用権設定(借地)により経営規模を拡大し、生産性の高い農業経営を目指す農家に対し、補助金を交付する。

2 事業概要

令和5年度は当該補助金について、利用権を設定した農用地のうち、市が推進する低農薬・低化学肥料で栽培する特別栽培米を作付けした場合に対する加算を新たに追加し、特別栽培米の生産拡大及び集積率の向上並びに環境に配慮した農業の更なる普及を図る。

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
農地維持対策補助金	○市内の農地の流動化を促進し、経営規模を拡大し、生産性の高い農業経営を目指す農用地の借り手農家に対し、補助金を交付。 ・農業経営基盤促進法に基づく利用権 2100a×800円 ・農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく利用権 500a×1,000円 ○R5年度は利用権を設定した農用地のうち、特別栽培米を作付けした面積1aあたり500円を追加交付 ・特別栽培米加算分 1900a×500円 ※R4からの継続見込み等交付分 1,900,000円 ※事業促進による新規見込み交付分 280,000円 ※R5からの特別栽培米加算交付分 950,000円	3,130

これまでの取組実績と新年度の見込み

(円)			
年度	面積(a)	補助金額	備考
令和2年度	970	803,200	
令和3年度	1,320	1,083,200	
令和4年度	2,132	1,790,200	
令和5年度	2,600	3,130,000	予定

事業名	移住定住促進事業	新規		予算額	R5	91,310 千円	担当課 (室)	地域づくり課
		継続	●		R4	58,688 千円		
		拡充	●					
		廃止						
1 事業目的								
●人口減少の抑制に向けて、移住定住を促進するための取組みを行う。								
2 事業概要								
区分		内容					R5当初予算 (単位:千円)	
【拡充】 移住定住促進補助金		【R5年度における制度変更点】 ①補助対象年齢制限を撤廃 ②ひとり親でも補助可 ③アクティブシニアへの補助を追加 ④中古住宅補助率の見直し 市内で住宅を購入し定住する世帯に対し、補助金を交付 【どちらか40歳以下の夫婦または中学生以下の子がいる世帯】 ・土地及び住宅を購入した場合…100万円 ・住宅のみを購入した場合…50万円 さらに、小学生以下の子1人につき10万円を加算 【上記以外のアクティブシニア、単身の若者等】 ・土地及び住宅を購入した場合…30万円 ・住宅のみを購入した場合…15万円					61,500	
【拡充】 結婚新生活支援事業補助金		新婚夫婦(婚姻から1年以内で夫婦ともに39歳以下)が移住、市内転居する際の引越し費用・住居費・リフォーム費用を補助(国県補助2/3) ・29歳以下 1世帯あたり上限60万円 ・39歳以下 1世帯あたり上限30万円 ※移住定住促進補助金との併用を可能とする					3,000	
【継続】 ひとり親移住定住促進補助金		市内に居住し、市内旅館業又は医療・介護関係に就業したひとり親に対する補助 ・引越費:引越費用の全額補助(上限10万円) ・引越初期補助:住宅借上げに係る敷金礼金の一部(上限15万円) ・家賃補助:月2万円の家賃を24ヶ月交付。					2,070	
【拡充】 移住・就業支援金		首都圏からの移住者向け支援金(国県補助3/4) 複数世帯の場合100万円、単身世帯の場合60万円 18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は18歳未満の者一人につき100万円を加算 ※移住先の市町要件を拡充(40歳以下夫婦→40歳以下の単身) ※国の18歳未満の加算額拡充に伴い、加算を30万円→100万円/人に拡充					10,200	
【継続】 空き家バンク事業補助金		空き家バンク登録を推進するため、空き家の所有者に対し、家財の処理費や清掃費を補助(補助率1/2、上限50万円)					1,000	
【継続】 空き家リフォーム補助金		空き家バンク登録物件を購入し、リフォームする人に対しその経費を補助(補助率1/2、上限50万円)					2,500	
【継続】 伊豆総合高校土肥分校下宿運営事業補助金(再掲)		土肥分校下宿者への下宿費補助					11,040	
合計						91,310		

No. 39

事業名	移 住 「Izu You Connect」事業	新規		予算額	R5	8,141 千円	担当課 (室)	地域づくり課
		継続	●					
		拡充						
		廃止						
					R4	2,199 千円		

1 事業目的

移住コネクター

伊豆市への移住定住の促進のため、令和4年度に発足した先輩移住者チーム「Izu You Connector」と連携し、さまざまな移住相談に対応する。

また、これまで若者交流施設管理業務の1つとして委託していた移住相談対応業務について、移住定住の更なる促進を図り、移住対応業務に特化し「移住情報センター運営委託」として実施する。

2 事業概要

【移住コネクター関連事業】

区分		内容	R5当初予算 (単位:千円)	
移住コネクター 関連事業	Izu I Connect事業	市民の伊豆愛の醸成を目的に、地域で元気に活躍する移住コネクターによる自然体験や起業などの様々な分野の市民講座を年間を通じて開催する。(年5回程度)	500	
	移住コネクター報償及び費用弁償	移住コネクターの移住相談会出席に対する謝礼、費用弁償	200	
	印刷製本費	移住コネクターの体験談を中心とした移住者向け冊子の増刷費	200	
移住情報センター 関連事業	移住情報センター運営委託	移住相談対応、移住ツアー企画、情報発信 ※R5年度より土曜日を追加運営	5,972	
	移住情報センター需用費等	水道光熱費、火災保険料、インターネット回線接続料	357	
	移住情報センター借上料	家屋借上料	912	
			合計	8,141

事業名	伊豆キャンどっと混む 「Izu camp.com Project」事業	新規		予算額	R5	21,326 千円	担当課 (室)	地域づくり課
		継続	●					
		拡充			R4	6,000 千円		
		廃止						

1 事業目的

交流人口・関係人口を増加させることにより、伊豆ファンを獲得し将来的に移住・定住に繋げ、人口減少対策を行うことを目的に、キャンプを入口としたアドベンチャーツーリズム事業で地域活性化を行う。アウトドア事業者と地域の「新たな事業の創出と人材のマッチング」を地方創生として図っていくことで、地域資源や特色を活かした個性を磨き上げ、産業を支える多彩な人材の育成と確保を行い、人と経済が好循環するまちを創造する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
情報発信事業	ポータルサイト企画・作成・運営 SNS連携	7,403
事業周知活動事業	キャンプイベントの開催・メディアを活用した発信	11,726
事業推進組織運営事業 他	事業推進組織の構築・運営 他	2,197
合計		21,326

※Izu camp.com Project事業は内閣府の地方創生推進交付金事業に採択されR4から3カ年で事業展開

Izu camp.com Project ポータルサイト構想図



モニターイベントについて

閑散期となる冬季などを始め、年間を通じて季節や地域特性を楽しめるコンテンツ造成や、アウトドアの聖地としてのブランドの確立を目的にキャンプ・アウトドアイベントを開催する。

イベント内容は今後、推進組織内で検討を行うが、基本的な路線は以下のとおりとする。

- ① 冬季に販売可能なコンテンツ造成に向けたモニターツアーの実施(1回)
- ② 海辺・山辺・川辺CAMPのブランド化に向けたモニターツアーの実施(各1回)

アウトドア分野における国内で有数の閲覧数を誇るアウトドア情報サイト「CAMP HACK」、キャンプ場予約サイト「なっぷ」と連携し、モニターツアーを活用した動画作成やスタンプラリーなどを実施し、ブランド化に向け進めていく。

事業名	地域おこし協力隊推進事業	新規		予算額	R5	75,683 千円	担当課 (室)	地域づくり課 農林水産課 観光商工課
		継続						
		拡充	●		R4	37,663 千円		
		廃止						

1 事業目的

地域の活性化や産業振興を図るため、地域外の人材を積極的に誘致し、地域における活動を通じてその定住や地域力の維持・強化を推進する。総務省の特別交付税による財政支援事業。都市地域から過疎地域等へ住民票を異動し生活拠点を移した者を「地域おこし協力隊」として自治体が委嘱する。

2 事業概要

【企画部門】

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
企画部門	新規隊員 5名(予定)、継続隊員 4名 ●新規隊員 R5年度中に新規の地域おこし協力隊員として3名を委嘱予定。(移住支援、情報発信、オリンピックレガシー、マリンスポーツ等) ●継続隊員 〈1人目〉地域の活性化に繋がる活動、移住定住の支援や情報発信(東京都から移住) 〈2人目〉市内コミュニティーFMにおいて広報伊豆の作成等の情報発信、商品開発(東京都から移住) 〈3人目〉地場産品・特産品の開発(神奈川県から移住) 〈4人目〉自転車を活用したまちづくり(東京都から移住)	48,697
農業振興部門	新規隊員 1名(予定)、継続隊員 3名 ●新規隊員 R4年度中に新規の地域おこし協力隊員(わさび栽培)2名とR5年度中に新規の地域おこし協力隊員(畑わさびの試験栽培)を委嘱予定。 ●継続隊員 〈1人目〉わさび栽培で就農を目指している。(神奈川県から移住) 〈2人目〉畑わさびを含む新規就農作物の普及と検討(東京都から移住) 〈3人目〉わさび栽培で就農を目指している。(令和4年度中に新規隊員として採用予定)	19,115
林業振興部門	新規隊員 1名(予定)、継続隊員 1名 ●新規隊員 R5年度中に新規の地域おこし協力隊員として1名を委嘱予定。(しいたけの栽培) ●継続隊員 〈1人目〉地域の伝統工芸である「修善寺紙(和紙)」の担い手として、その技術の習得を目指すとともに、和紙の原材料である楮、三桠、雁皮等の栽培も行う。(大阪府から移住)	7,871
合計		75,683

伊豆市地域おこし協力隊委嘱状況

年度	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
現隊員数	3	6	5	5	6	5	7	9	16
新規採用数	3	3	1	3	2	2	3	4	7
定住者	-	-	1	2	1	1	2	1	-

No. 42

1 事業目的

●市民文化意識の高揚と地域文化の創造と発展を図り、市民の文化芸術に親しみやすい環境づくりと心豊かな人づくりを支援する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位：千円)
伊豆文学祭関連事業	静岡県で令和5年「東アジア文化都市2023静岡県」が開催される。これに伴い、伊豆半島の各市町で文学に関する事業やイベントが開催される。伊豆市でも文学に関するイベントを開催し、本市にゆかりの深い文豪の魅力を再確認する機会とする。 印刷製本費 550千円 伊豆文学祭関連業務委託 9,450千円	10,000

事業名	美術館建設推進事業	新規		予算額	R5	9,382 千円	担当課 (室)	社会教育課
		継続	●					
		拡充			R4	3,844 千円		
		廃止						

1 事業目的

●芸術、文化の向上と観光振興を図るため、民間事業者の参入による複合的な美術館の整備を推進する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位：千円)
美術館建設推進事業	市民が文化・芸術に親しむことにより、豊かな感性や創造性を育むとともに市内外から訪れた方も楽しむことができる複合的な美術館の整備を推進する。 建設推進委員謝礼 295千円 建設推進委員費用弁償 87千円 事業者選定業務委託 7,500千円 建設候補地不動産鑑定委託料 500千円 土地境界確定等業務委託料 1,000千円	9,382

事業名	学校給食地元栽培米活用事業	新規		予算額	R5	2,478 千円	担当課 (室)	学校教育課
		継続						
		拡充	●		R4	2,615 千円		
		廃止						

1 事業目的

学校給食で使用する精米を全て地元栽培米にすることで、地産地消を推進するとともに、子ども達の郷土愛を育む食育活動に繋げ、さらなる学校給食の充実を図る。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【拡充】 地元栽培米の学校給食提供	【天城給食センター】 年間使用精米量(10kg)617袋	730
	【中伊豆給食センター】 年間使用精米量(10kg)907袋	1,210
	【修善寺中学校】 年間使用精米量(10kg)403袋	538
	合計	2,478

No. 45

令和3年度	令和4年度	令和5年度
・国作成マニュアルに基づくGIS等を用いた各種データの重ね図作成、定量分析 ・都市機能誘導区域、居住誘導区域の設定方針の検討 ・国・県関係機関協議（都市、農業）技術支援・図面作成	・都市機能誘導区域、居住誘導区域等（案）の設定 ・防災指針（案）の作成 ・用途地域設定・地区計画策定に係る下協議資料・図面作成	・都市計画推進協議会（外部団体）、庁内検討委員会での検討 ・都市機能誘導区域、居住誘導区域、防災指針等の決定 ・都市計画審議会への意見聴取、議会への報告、国県協議 ・パブリックコメントの実施

事業名	修善寺駅前地区まちづくり検討事業	新規	●	予算額	R5	17,207 千円	担当課 (室)	都市計画課
		継続	●					
		拡充			R4	- 千円		
		廃止						

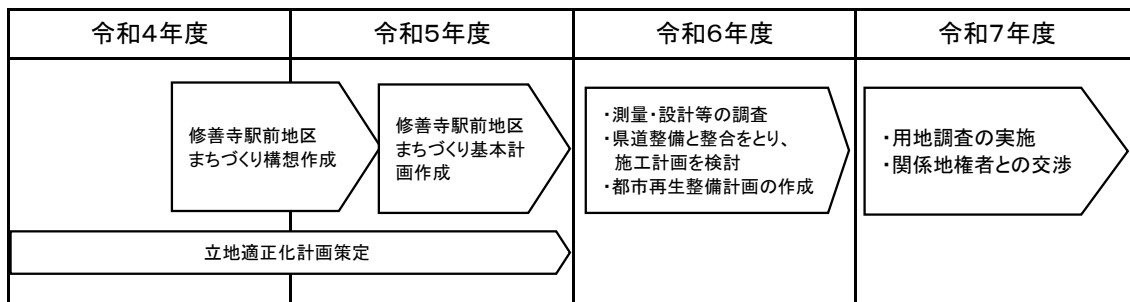
1 事業目的

主要地方道伊東修善寺線の修善寺駅前区間において、県が交通安全を目的とした道路改良事業の検討に着手したため、県道整備に合わせて県道と交差する市道の拡幅や付け替えなどの検討に着手する必要があることから、地域住民や企業、団体によるワークショップを実施し、まちづくり計画や整備計画の作成に向けて検討を進める。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【継続】 修善寺駅前地区まちづくり構想作成	まちづくりワークショップを開始し、まちづくり基本構想を作成。 県道改良事業の事業化に向けた地域の合意形成を図る。 ・上位計画、駅周辺の過去の経緯等の整理 ・現況調査 ・ワークショップ運営(3回)、基本構想説明会(1回) ・策定準備中の「立地適正化計画」との調整 ・庁内、交通事業者、県道管理者等との協議	9,207 (R4債務負担設定済)
【新規】 修善寺駅前地区まちづくり基本計画作成	まちづくり基本構想に基づく、まちづくり基本計画作成 地権者、地域、事業者の意向の調整 具体的な整備計画の整理 ・ワークショップ運営 ・事業手法、整備計画の検討 ・策定準備中の「立地適正化計画」との調整 ・庁内、交通事業者、県道管理者等との協議	8,000
合計		17,207

3 スケジュール



事業名	バス路線維持事業	新規		予算額	R5	150,823 千円	担当課 (室)	地域づくり課
		継続	●					
		拡充			R4	142,432 千円		
		廃止						

1 事業目的

市内の路線バスの運行を維持することにより地域住民または通学児童生徒の交通の利便を確保するとともにバス路線の利用促進及び利用者の負担軽減を図る。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
バス路線維持補助金	生活バス路線のうち、バス事業者が不採算路線として撤退した路線に対し、市がバス事業者に運行(20系統)を委託及び補助金を支出する。	150,823

○直近3年の交付額(単位:円)

運行年度	交付決定額	交付確定額
令和4年度	142,131,000	—
令和3年度	85,182,000	108,010,082
令和2年度	62,523,000	85,808,327

※交付確定額は補正後の価格

○対象路線(全20路線)

番号	系統名 (路線名)	運行系統			系統 キロ程 (km)	運行回数 (回/日)	運行時間帯 (修善寺駅発)
		起 点	経過地	終 点			
1	修善寺・天城の杜線	修善寺駅	本立野	天城の杜	16.9	5.5	6:20~19:00
2	修善寺・持越温泉線	修善寺駅	本立野	持越温泉	19.5	1.5	17:40
3	修善寺・持越温泉線	修善寺駅	吉奈温泉	持越温泉	21.7	1.0	15:30
4	修善寺・湯ヶ島温泉線	修善寺駅	本立野	湯ヶ島温泉	14.7	4.5	7:15~18:35
5	修善寺・湯ヶ島温泉線	修善寺駅	吉奈温泉	湯ヶ島温泉	16.9	1.0	12:45
6	修善寺・柿木大野線	修善寺駅	下柿木	柿木大野	11.8	1.8	15:45~18:10
7	柿木循環	修善寺駅	柿木循環	修善寺駅	17.1	2.0	7:35~13:25
8	天城小・長野線	天城小学校	田沢	長野	8.2	1.1	14:55~15:55
9	修善寺・上大沢線	修善寺駅	牧之郷	上大沢	9.8	2.4	5:55~16:00
10	修善寺・湯舟口線	修善寺駅	小山	湯舟口	4.4	2.0	6:17~18:38
11	修善寺・湯舟口線	修善寺駅	寺山口	湯舟口	4.6	2.0	6:34~18:55
12	修善寺・馬渡橋線	修善寺駅		馬渡橋	4.9	3.5	7:01~16:05
13	修善寺・下尾野口線	修善寺駅	冷川	下尾野口	10.4	3.8	8:22~19:20
14	下尾野口・修善寺線	下尾野口	中伊豆温泉病院	修善寺駅	14.0	0.8	7:04~18:09
15	下尾野口・沢口線	下尾野口	冷川	沢口	6.8	1.3	14:54~15:44
16	修善寺・伊東線	修善寺駅	冷川	伊東駅	13.4	6.0	7:00~18:35
17	修善寺・温泉病院線	修善寺駅	冷川	中伊豆温泉病院	5.6	7.6	8:03~17:10
18	中伊豆線	修善寺駅	地藏堂	筏場	12.8	3.5	6:50~17:50
19	中伊豆線	修善寺駅	貴僧坊	筏場	12.8	3.9	9:00~15:35
20	中伊豆線	修善寺駅	地藏堂・筏場	姫之湯下	15.3	1.1	18:20~20:45

事業名	交通利用助成事業	新規		予算額	R5	93,185 千円	担当課（室）	地域づくり課 社会福祉課 健康長寿課 学校教育課
		継続	●					
		拡充	●		R4	95,295 千円		
		廃止						
1 事業目的								
・小中高校にバス通学する児童生徒の保護者の負担軽減と路線バスの利用促進を図る。 ・高齢者や障がい者の生活圏の拡大、社会参加の促進及び福祉の増進並びに公共交通の利用促進を図る。								
2 事業概要								
(単位:千円)								
区分		内容				R5当初予算		
【継続】 高齢者割引乗車証購入助成事業補助金 (地域づくり課)		○対象 申請日において市内に住所を有する70歳以上の高齢者 ○内容 バス事業者の発行する「いきいきパス」購入費の一部を補助 ・3ヶ月乗車証 5,000円 ・6ヶ月乗車証 9,000円 ・12ヶ月乗車証 13,500円				3,600		
【継続】 通学補助事業 (学校教育課)		市内に住所を有する児童生徒又は市立小学校、中学校及び義務教育学校に通学する児童生徒で住居から学校までの全行程が片道2km以上の者の保護者に対し、通学費の一部を補助する。 【小学校分】 16,492,000円 【中学校分】 31,816,000円 【義務教育学校分】 3,921,000円				52,229		
【継続・拡充】 高校生バス通学補助事業 (地域づくり課)		【継続】市内に住所を有する生徒で高等学校等に通学する際にバスを利用する者に対しバス定期券の購入代金の一部を補助する。 【拡充】バス利用促進のため、中学生・高校生の部活動等の市内学校間交流を図るバス利用券(回数券)を配布する。				11,000		
【継続】 重度心身障害者タクシー等利用助成 (社会福祉課)		○対象 市内に住所を有する身障1・2級、療育A・B、精神1・2級の障害者手帳所持者 ○内容 タクシー、バス、鉄道の助成利用券(100円×120枚＝12,000円分)を交付				4,792		
【継続】 在宅高齢者タクシー等利用料金助成事業 (健康長寿課)		○対象 市内に住所を有する満80歳以上の在宅高齢者 ○内容 タクシー、バス、鉄道の助成利用券(100円×120枚＝12,000円分)を交付				21,564		
						合計	93,185	

事業名	高齢者運転アシスト機器設置補助事業	新規	●	予算額	R5	300 千円	担当課 (室)	地域づくり課
		継続						
		拡充						
		廃止			R4	- 千円		

1 事業目的

高齢ドライバーの運転操作の誤りによる重大な交通事故の防止及び事故時の被害軽減を図るため、後付けの急発進等抑制装置を設置した者に対し、補助金を交付する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
高齢者運転アシスト機器設置補助	●対象者 (1) 申請時において市内に住所を有し、住民基本台帳に記録されている者で、補助金の交付を受けようとする年度の3月31日現在で65歳以上となるもの (2) 営利を目的とせず、かつ、補助金の交付を受けようとする年度の4月1日以後に自ら使用する目的で急発進等抑制装置を購入し、補助対象自動車に設置した者 (3) 補助対象自動車の自動車検査証の使用者の氏名又は名称欄に記載されている者 (4) 有効期限内の自動車運転免許証を保有している者 (5) 市税等を滞納していない者 ●補助額 国等が定める補助金又は交付金を控除した金額の2分の1の額とし、限度額を30千円とする。ただし、補助金の額に、1千円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額とする。 補助金の交付は、補助対象者1人につき1回限りとする。 ●補助期間 令和5年4月1日～令和8年3月31日	300

●他市状況

	補助額	補助期間
長泉町	補助対象経費の1/2以内とし、限度額を50千円とする。なお1千円未満の端数が生じた時は、切り捨てた額とする。	令和2年4月1日～令和5年3月31日
磐田市	他の補助金を除いた設置費用(本体及び取付部品とその工賃)のうち10千円を限度とする(1千円未満の端数は切り捨て)	令和2年4月1日～令和5年3月31日
御前崎市	購入及び設置費用から国等が定める補助金又は交付金を控除した金額の1/2の額上限20千円 1人1台に限る	令和3年4月1日～令和6年3月31日

事業名	収納対策強化事業	新規	●	予算額	R5	11,771 千円	担当課 (室)	税務課
		継続	●					
		拡充	●		R4	12,613 千円		
		廃止						

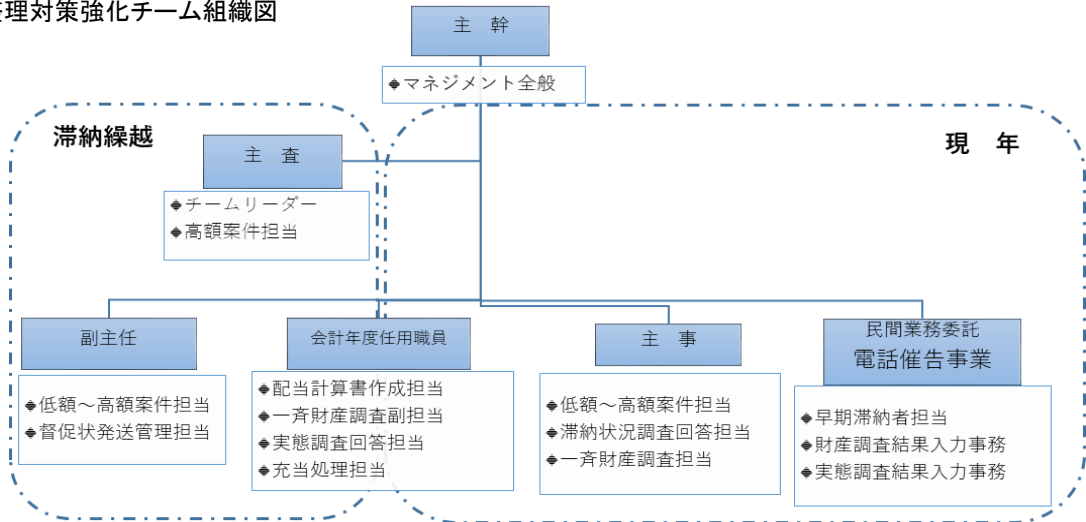
1 事業目的

納税に係る利便性を向上させて滞納の軽減を図るとともに、滞納となった場合でも電話催告など早期の納税を促し、それでも納税に繋がらない場合には財産の差し押さえなど厳格な対応をすることで収納率の増加を図る。また、税制度や法解釈などの内部研修及び滞納処分や差押などの外部研修による職員のスキルアップを図る。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【拡充】 滞納整理対策チームの スキル向上	税制度や法解釈など実務に即した内容については内部研修、更に滞納処分に関する最新の情勢を反映した内容を外部研修により、職員のスキルアップを図る。 ・研修会負担金 106千円(外部研修1回×3人) ・普通旅費 62千円(外部研修1回×3人)	168
【拡充】 QR納付書収納 コンビニ収納 モバイル収納	・令和5年度からQRコード付き納付書により全国の金融機関及びキャッシュレス等で納付が可能となることから、QRコードによる納付方法を示したリーフレットを作成し、該当税目の納税通知書と一緒に同封発送することにより周知を図る。(印刷製本費264千円) ・全国のコンビニエンスストア及びPayPay、LINE Payによる納税の促進。 ・高齢者スマホ教室においてキャッシュレス決済による納付方法について動画などで紹介し普及推進を図る。	2,489
【新規】 キャッシュレス・口座振 替納税の普及促進	キャッシュレス及び口座振替による納税の普及促進を図るため、これらの納税を行った人の中から抽選で賞品を配布。 (1千円相当の賞品×200人)	200
【継続】 滞納者電話催告事業	・契約期間 令和3年3月～令和6年2月 令和6年3月～令和9年2月(債務負担) オペレーター2名・平日 月/16日・休日 月/1日 6時間勤務	3,882
【継続】 インターネット公売	・不動産鑑定料 土地建物・更地 ・美術品等鑑定料 公売1回分 ・検索時間錠者技術料 検索3回分 ・インターネット公売 不動産1件・動産1件	887
【拡充】 静岡地方税滞納整理機 構移管	・静岡地方税滞納整理機構負担金 困難、悪質、多額の滞納者の徴収業務を機構に移管し、滞納処分を中心に滞納整理を行う。 移管件数 令和4年度 20件 → 令和5年度 23件	4,145
合計		11,771

3 滞納整理対策強化チーム組織図



事業名	ふるさと納税促進事業	新規	●	予算額	R5	555,077 千円	担当課 (室)	企画財政課
		継続	●					
		拡充	●		R4	430,630 千円		
		廃止						

1 事業目的

伊豆市へふるさと納税による寄附をしていただくことにより、自主財源の確保に加えて返礼品提供による市内経済の活性化及び市の魅力を多くの人に感じてもらうことを目的とする。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【新規・拡充】 返礼品	【新規】返礼品に係る送料を市が負担することにより、返礼品の商品競争力を向上させ、更なる寄附獲得を図る。 【拡充】寄附目標額を12億円(R4目標額:10億円)として、寄附額の3割相当の返礼品を計上する。	364,200
【新規・拡充】 プロモーション業務	【新規】大手検索サイト等へのバナー広告表示によるWEBプロモーション、富裕層向け情報誌への広告掲載(年2回)、各ふるさと納税ポータルサイト内への広告掲載 【継続】首都圏在住者が多く購読する新聞へのタブロイド紙広告(11~12月の2回)、LINE公式アカウントによるふるさと納税情報の発信、前年度寄附者向け使途報告冊子作成・送付、楽天ポータルサイトの魅力化	32,648
【新規・継続】 寄附管理業務	【新規】オンラインワンストップ特例申請システム使用料、封入封緘機借上料 【継続】ふるさと納税管理システム使用料、郵便料等	5,098
【拡充】 企業版ふるさと納税	企業版ふるさと納税獲得に向けたマッチング支援委託(成功報酬型)、営業旅費 ※寄附目標額:1,000万円	2,100
【継続】 ポータルサイト使用料	ふるさと納税ポータルサイト掲載使用料 ※目標寄附金額12億円として計上(利用料10~12%、決済手数料1~3.5%)	148,973
【継続】 報酬等	ふるさと納税の返礼品発注等の事務担当として会計年度任用職員(パートタイム)を配置。(4日/週)	2,058
合計		555,077

3 寄附実績

(単位:千円)

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4
当初予算額	300,000	300,000	400,000	600,000	800,000	1,000,000
寄附額	259,058	396,775	612,615	576,071	873,585	※953,097

※R4の寄附額は、12月末までの額

No. 53

事業名	戦略的プロモーション事業	新規	●	予算額	R5	9,138 千円	担当課 (室)	企画財政課
		継続	●		R4	10,608 千円		
		拡充	●					
		廃止						
1 事業目的								
総合計画・総合戦略に基づく、人口減少抑制戦略・適応戦略として、市の優れた施策やまちの魅力を積極的に発信・プロモーションすることにより、市のイメージアップとアイデンティティの醸成、市外からの流入促進につなげ、移住・定住を促進する。								
2 事業概要								
区分		内容					R5当初予算 (単位:千円)	
【新規】 シティーセールス広告 掲出		伊豆への観光客等をターゲットに子育て支援策や移住定住施策のPR等のシティーセールスを実施し、移住定住の促進や関係人口の創出を図る。 ■IzuYouトレイン運行(伊豆急電車ポスタージャック) ■IzuYouバス運行(路線バス(東海バス)フルラッピング)					3,470	
【拡充】 SNS投稿キャンペーン		R4年度に実施したSNS投稿キャンペーン(キャッチフレーズ募集)の第2弾として、Instagramを活用したフォトコンテストを実施。R4年度とR5年度の入賞作品を活用し、市制20周年記念カレンダーの作成につなげる。併せて、プロモーションサポーター等への写真撮影講座等を実施し、今後のプロモーション活動の活性化を図る。					2,803	
【新規】 SNS情報発信業務		市公式Instagramからの通年での情報発信(想定年間投稿件数30件)を実施。市プロモーションサポーターとの連携、リポスト等による拡散を図り、シティーセールスにつなげる。					500	
【継続】 大型看板用デザイン 作成		修善寺駅市有大型看板用掲示物の作成、掲出により、関係人口の創出やふるさと納税獲得に向けたシティーセールスを実施。					165	
【継続】 鉄道駅広告看板掲出		駿豆線の駅・車両等へ移住・定住をテーマとした看板・広告を掲出し、観光客をはじめとする鉄道利用者への移住定住施策、子育て支援策等のPRを実施。					2,200	
							合計	9,138

No. 54

事業名	未利用公共施設整理事業	新規	●	予算額	R5	30,342 千円	担当課 (室)	用地管理課 上下水道課
		継続						
		拡充						
		廃止						
					R4	- 千円		

1 事業目的

未利用となっている公共施設の整理を行うことにより、維持管理経費の削減を図る。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
市営住宅東原団地の解体 (用地管理課)	10年以上入居者の無い天城地区の東原団地について、 公共施設再配置計画に基づき解体する。 東原団地解体工事 18,810千円 東原団地解体前調査委託料 61千円	18,871
中伊豆温泉スタンドの廃止 (上下水道課)	休止している市営温泉スタンドについて、温泉水位の回復が見込めないことやそれに代わる社会資源として民間による温泉スタンドが上白岩にオープンし、以前の利用 者もそちらへ定着したことに伴い廃止する。 中伊豆地区温泉施設解体工事 11,471千円	11,471
合計		30,342

事業名	借地解消事業	新規	●	予算額	R5	17,039 千円	担当課（室）	土肥支所 学校教育課
		継続						
		拡充						
		廃止						
					R4	— 千円		

1 事業目的

資産経営の観点から、公共施設の借地購入や不要となる借地の返還を進め、維持管理経費の抑制を図る。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
恋人岬施設の借地購入	借地となっている恋人岬ステラハウス及び駐車場用地を 購入する。 購入土地 8筆 4,513㎡	13,539
修善寺中学校テニスコートの借地返還	現在借地利用している修善寺中学校テニスコートは、新 中学校統合後には不要となることから、学校・地権者と 話し合いを行い、解体・返還する。 テニスコート解体撤去工事 3,500千円	3,500
合計		17,039

事業名	公共施設民間活用推進事業	新規	●	予算額	R5	97,000 千円	担当課 (室)	観光商工課 上下水道課
		継続						
		拡充			R4	- 千円		
		廃止						

1 事業目的

施設の老朽化の進行、人口減少社会の到来、厳しい財政状況など様々な課題がある中、効率的・効果的な維持管理及び運営を行っていくため、民間事業者による管理運営手法の調査・検討を行うとともに、民間移行に向けた準備を進める。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
達磨山高原施設の購入	達磨山高原施設(レストハウス、ロッジ、キャンプ場)の民間活用に向けて県有施設を購入し、市有施設への移管を行う。	54,000
虹の郷民間活用の検討	民間活力の導入の一環として、市営観光施設の活性化に向けて、コンセッション方式導入の可能性も含め、PPP/PFIの導入の可能性や施設改修等の検討を行う。	13,000
土肥温泉事業	PFIコンセッション方式による民間活用に向けた資産評価(デューデリジェンス)等の実施	30,000
合計		97,000

No. 57

1 事業目的		
市民サービスの安定的な供給と、今後の職員不足に対応するため、窓口業務のアウトソーシング化を進める。また、公共施設の保守管理の質の向上、業務の効率化等を図り、今後の持続可能な管理運営につなげるため、公共施設における保守管理業務を包括的に委託する。		
2 事業概要		
●窓口業務		
区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
窓口受付等業務包括業務	窓口受付業務や各課の事務補助業務等について、包括的委託することにより、民間事業者のノウハウを活用した効率的な事務の遂行、市民サービスの安定・向上、今後懸案となる人員不足や職場環境の改善を図る。 配置部署:総務課、地域づくり課、市民課、税務課、環境衛生課、清掃センター	106,000
●施設管理業務		
区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
包括施設管理業務委託	○業務実施施設:計94施設(内、R5に3施設増) 本庁、別館、生きいきプラザ及びその他伊豆市公共施設 ○委託業務内容:計264業務(内、R5に18業務増) ・環境衛生管理業務(清掃管理業務・害虫駆除) ・設備管理業務(電気工作物保守点検業務・空調設備保守業務・電話交換機保守点検業務・昇降機保守点検業務・自動ドア保守点検業務・消防設備点検業務等) ・建築物・設備保全業務(防火対象物点検業務委託等) ・保安警備業務(施設管理業務・機械警備業務委託等)	128,000

No. 58

事業名	マイナンバーカード普及促進事業	新規	●	予算額	R5	9,000 千円	担当課 (室)	市民課
		継続						
		拡充						
		廃止						
					R4	- 千円		

1 事業目的

国の「デジタル田園都市国家構想基本方針」を踏まえ、マイナンバーカードの更なる交付率向上のための取り組みを実施する。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
マイナンバーカード普及促進事業	(1)積極的な出張窓口の設置や、カード交付・ポイント付与等に伴う事務処理の増加に対応するため、マイナンバーカード申請交付に係る会計年度任用職員を1名増加。 会計年度任用職員給料、職員手当等 3,000千円	3,000
	(2)マイナポイント第2弾の対象となるマイナンバーカードの申請は令和5年2月末で終了となるため、マイナポイント第2弾終了後(令和5年3月以降)にマイナンバーカードを申請する動機付けの一つとしてノベルティ(QUOカード)の配布を行う。 2千円(QUOカード)×3千人(交付率10%相当)=6,000千円	6,000
合計		9,000

No. 59

事業名	自治体DX推進事業	新規	●	予算額	R5	64,136 千円	担当課 (室)	地域づくり課 企画財政課 農林水産課 社会福祉課
		継続	●		R4	27,747 千円		
		拡充						
		廃止						

1 事業目的

伊豆市DX推進方針に基づき、ICTなどのデジタル技術を最大限活用し、市民の利便性向上及び行政業務の効率化を図る。

2 事業概要

区分	内容	R5当初予算 (単位:千円)
【新規】 行政端末の無線化 (地域づくり課)	職員端末の切替時期にあわせモバイルパソコンを導入するとともに無線環境を整備。	37,751
【継続】 業務効率化ソフトウェアの活用 (地域づくり課)	・議事録作成システムを活用し事務負担の軽減を図る。 ・AI-OCRやRPA技術等を利用して業務自動化を推進し効率化を図る	6,034
【新規】 証明書等自動交付機の設置 (地域づくり課)	本庁窓口にマイナンバーカードの利用により各種証明書(住民票の写し等)の交付が可能なマルチコピー機を設置し、混雑緩和やマイナンバーカードの交付率向上を図る。 ※デジタル田園国家構想推進交付金(デジタル実装タイプTYPE1)対象事業	6,600
【継続】 高齢者スマートフォン普及促進業務 (企画財政課)	市内に在住する65歳以上の高齢者を対象に「操作講習会」や「相談会」を実施するとともに、スマホを所有していない高齢者へ「お試し利用」として、一定期間のスマホ無償貸出を実施し、スマホの利用促進並びにデジタルスキルの向上を図る。	6,700
【新規】 生活保護システムの標準化及び医療扶助オンライン資格確認 (社会福祉課)	・生活保護システムの標準化に向けた支援業務 ・マイナンバーカードを利用した医療扶助のオンライン資格確認を令和5年5月からテスト開始。(令和5年度末までに本格運用が開始)	6,004
【新規】 農業委員会サポートシステムの導入 (農林水産課)	農業委員による農地利用状況等の現地調査作業のデジタル化により、作業の効率化及び負担軽減を図る。	1,047
合計		64,136